

# 営農ファイル

## 農産園芸部門

### 農作業メモ

#### 早期水稲

##### ①生育・水管理

浅水（水深約1cm）にしましょう。  
ガス発生で下葉の褐色時は田を軽く干します。

##### ②無効分げつ期の水管理

1. 中干しの励行  
落水をやや早めに行い、亀裂が入る程度に干しましょう。

中干しを確実に行うことで根を活性化し、健康なイネを栽培しましょう。

2. つけ苗処分によるいもち病の防止  
補植がすんだらつけ苗は早く処分しましょう。

川南町・都農町の水田で雑草イネ（赤米）の発生が見られます。玄米に混入すると規格外になります。見かけたらすぐにJA又は普及センターにお知らせください。

問い合わせ先

尾鈴地区本部 営農指導課

TEL27-4504

見湯改良普及センター

TEL43-2311

#### ハウス胡瓜

##### ○栽培管理について

気温の上昇に伴い、葉の老化が進みます。日差しが強い時間は遮光を行うてください。日中は、消耗を抑制するため、サイド、ツマ換気を十分に行い、温度が上がりすぎないように注意してください。サイドの二重ビニールの除去が遅れている方は、早急に取り外してください。○追肥・灌水について

換気している時間が長くなると、ハウス内が乾燥します。灌水量を徐々に増やし多回数灌水に努めてください。また、通路が乾き過ぎている場合は通路散水も定期的に行ってください。草勢が弱いようであれば、葉面散布を行ってください。○病気について

病害（べと病・灰色カビ・菌核病・うどんこ病）と害虫（スリップス・コナジラミ・アブラムシ・ダニ）の防除を合わせて行ってください。ハウス内外の除草は早急に行ってください。特にスリップスは、黄化えそ病の媒介となるので徹底防除をしてください。

#### ニラ

今作もいよいよ大詰めとなってきました。気温も暖かくなり、蒸散量も上がってきます。水分管理、換気には十分注意してください。また、スリップスの発生も見られています。徹底防除をしてください。

今作終了された生産者の方は次期作に向けてのほ場準備期間になります。残渣

処理をしつかり行い、次期作に残らないようにしてください。上記に併せて次期作苗への灌水、追肥、換気等十分注意してください。

#### トマト類

温度の上昇に伴い、葉枝も伸びてきており、換気と病害虫対策の為、混んでいる所やムレ葉などを摘葉してください。※一度に多くの葉を取ると根傷みを起こしたり草勢が低下したり、裂果が発生したりするので、出来るだけこまめな摘葉を実施し、常時15枚程度残すよう心掛けてください。

併せて気温や土壌の乾燥状況に気をつけながら灌水管理を行ってください。また、日差しも強くなるため果実の日焼け防止として2重ビニールを利用するようしてください。

病害（カビ類）、害虫（コナジラミ・サビダニ等）の定期的防除を心掛けてください。

#### イチゴ

気温が高く、日差しも強いいため、サイドビニール・ツマ面からの換気等を行いハウス内気温の上昇に注意し、適期収穫・着色基準の厳守に心がけてください。

親株については、炭疽病対策として薬剤防除の徹底と育苗床の除草をしてください。

また、害虫（スリップス、コナジラミ等）の発生が多く見られます。苗管理の時点で徹底した防除をしてください。

#### ぶどう

摘粒は2回目のGA処理後に行えば、比較的省力できます。仕上げ摘粒が遅れそうな場合は、内向き果を中心に予備摘粒を行ってください。密着していると、裂果等が懸念されるため、注意してください。着果過多は、樹勢を低下させる原因になります。樹勢を維持するためにも、房の良否が判断でき次第、なるべく早い段階で適正着房数まで摘房してください。

この時期は、ハウス・大型トンネルともに圃場内の温度が上がってきています。高温障害を発生させないように換気の徹底とこまめな灌水を午前中に行い、圃場内の温度を下げる対策を行ってください。

#### きんかん

樹勢回復の為に、葉面散布の実施と灌水はたっぷり行ってください。剪定が遅れた園については、発芽を揃える為に蒸し込みを行い、発芽促進を図ってください。蒸し込みを行う際は、ハウス内温度が30℃以上にならないよう換気を行ってください。

新梢が発生し、自己摘心するまでは、一週間間隔で4〜5回葉面散布を行ってください。新梢自己摘心後は、新梢緑化促進の為、一週間間隔で3回程度葉面散布を行ってください。5月下旬頃に夏秋梢伸長抑制の為、ターム水溶剤を100〜2000倍で散布してください。